

中津地区の人口・世帯（12月末）

|       |          |
|-------|----------|
| 人口（計） | 24,613人  |
| 人口（男） | 12,131人  |
| 人口（女） | 12,482人  |
| 世帯数   | 11,267世帯 |

こんにちは。中津川市役所 中津事務所（市民協働課）です。  
地域版広報紙「なかつ地区」令和7年2月号の発行です。  
今回も3地区（西・南・東地区）から厳選した「地域情報」をご紹介します。  
ご意見やご感想などございましたら下記宛に書面でお願いします。

発 行：中津事務所 岐阜県中津川市かやの木町2番1号  
電 話：0573-66-1111（内線327） FAX：0573-65-5273  
E-mail：kyodo@city.nakatsugawa.lg.jp



# 各地区の防災活動

2025年は能登半島地震から1年、阪神大震災から30年の節目を迎えました。中津3地区でも、大規模災害の発生に備え、住民同士の交流や地域の防災力を高める取り組みを年間を通じて実施しています。令和6年度の内容の一部を紹介します。

## 西 地区 西地区防災フェスタを開催

楽しみながら防災について学ぶ「西地区防災フェスタ」が、12月7日(土)に西小学校で開かれました。

「地域住民の交流&防災意識の向上」をコンセプトに、地域の若者などで行く実行委員会が初めて開催。中津西まちづくり協議会が後援し、地域の企業等も協力しました。

起震車で地震体験や簡易トイレづくり、消火器を使ったゲームなどがあり、参加者はいざという時にどう対処するか考えながら取り組んでいました。このほか、グルメや雑貨などが並ぶ「にじいろマルシェ」や太鼓演奏などさまざまなイベントがあり、住民同士が交流を楽しんでいました。



## 東 地区 能登半島地震の体験談から防災対策を考える



中津東地区まちづくり推進協議会は12月14日(土)、松田公民館で、能登半島地震の体験者から話を聞く会を開き、震災への備えについて考えました。

震災の体験談を今後の防災まちづくり活動にいかそうと、防災安全部会が企画して開催。昨年1月1日に帰省先で能登半島地震を体験した市内在住者を招き、震災直後の様子や避難生活についての話を聞きました。

参加者は、家族構成などに応じて自分に合った備えをしておくことや、日ごろからいざという時のシミュレーションをしておくことの大切さについて再確認しました。話を聞いた後には意見交換を行い、地域の備えや活動にいかせることについて検討しました。

## 南 地区 中学生と避難所開設訓練を実施

南地区の避難所開設訓練が11月17日(日)、第二中学校で行われ、中学生や地域住民ら約150人が参加しました。今回は令和3年度から5年度までに実施してきた訓練内容を拡大し、大規模な地震災害の発生や警戒宣言の発令を想定して、避難所開設の初動訓練を行いました。

参加者は、体育館内の安全確認や、シェルターテント、マンホールトイレの設置など一連の流れを確認。中学生が設営のリーダーシップをとる場面もあり、手際よく進めていました。

参加者からは「中学生が頼もしかった」「食事関連の訓練もしてほしい」など、さまざまな意見が寄せられました。





# 各地区の活動

## 西 地区 桃山区文化祭が開かれました

11月上旬、桃山区民による文化祭が桃山会館で行われました。

会場には南小学校児童の夏休みの自由研究や、区民が制作した竹の灯り、本棚や書、壁飾り、バルーンアート、彫像などが展示されました。ほかにも中津西まちづくり協議会の協力で、前回好評だった「昔と今のまち風景」の写真も飾られました。今回は桃山公園やD51、北恵那電車、根の上高原などの画像が追加され、来場者が懐かしそうに話す姿がありました。

また初の試みとして防災をテーマにモバイルバッテリーや太陽光パネルなども展示しました。



## 東 地区 東小学校の児童がウォーキングマップを使用して中山道の史跡見学を実施しました



12月中旬、中津東地区まちづくり推進協議会が作成したウォーキングマップを活用し、東小学校6年生が中山道の史跡を歩いて巡りました。

コースは中津川大橋から旭ヶ丘公園までの約1.6km。同協議会のメンバーがボランティアとして参加し、児童たちにマップに掲載されている各所を案内しました。児童たちは熱心に話を聞いたり、写真を撮るなどして中津地区の歴史について学んでいました。

マップは地域住民に中津川宿を知ってもらおうと、同協議会が昨年3月に作成。子どもにも分かりやすい表現で中津川宿を紹介しており、今回初めて授業で活用されました。

## 南 地区 中津南地区三世代交流さわやか芸能フェスティバルが開催されます。

第21回中津南地区三世代交流さわやか芸能フェスティバルが開催されます。

今年は神坂小学校を含む14団体が参加予定です。歌や踊り、演奏など子どもから大人まで様々な年代のステージをぜひ会場でご堪能下さい。

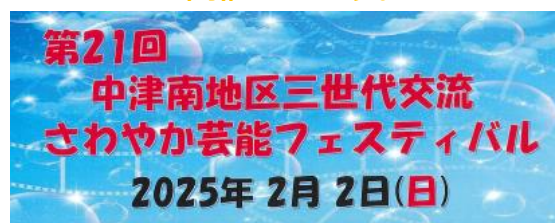
日にち：2月2日（日）

時間：開場11時45分、開演12時30分

場所：中津川文化会館ホール

入場料：無料

主催：中津南地区三世代交流さわやか芸能フェスティバル実行委員会・南地区区長会



## 区長会連合会 視察研修

今年度は「人口減少対策」をテーマに、視察研修を実施しました。

実施日：令和6年11月21日（木） 参加人数：70名

### ●視察先

長野県南箕輪村（南箕輪村防災研修センター 森の学び舎）

### 長野県南箕輪村について

南箕輪村は長野県の南部に位置し、西に中央アルプス、東に南アルプスを望む、伊那谷の中で最も広い平地の中心にあります。明治8年以来合併も分離もなく、令和7年に村政150周年を迎えます。

県下の村一番の人口増加数・人口増加率を誇り、平均年齢が最も若い活気あふれる村です。

| ※各月末時点 | 南箕輪村                  | 中津川市                   |
|--------|-----------------------|------------------------|
| 人口     | 16,051人(R6.12)        | 73,613人(R6.12)         |
| 面積     | 約40.99km <sup>2</sup> | 約676.45km <sup>2</sup> |
| 幼保児童数  | 624人(R4.3)            | 1,034人(R5.4)           |
| 小学校児童数 | 1,022人(R4.4)          | 3,623人(R5.4)           |



大芝高原

### 南箕輪村の取り組みについて



南箕輪村役場地域づくり推進課 高橋里江課長から、人口減少対策として移住・定住施策に関する話を聞きました。

高橋課長は「生まれてくる子どもの数を減らさないこと、住んでいる人全てが幸せになることが大事」といい、南箕輪村の人口増加の要因を語ってくれました。

集落支援員である山口みずきさんからは、自治会加入率低下や役員の担い手不足などの課題を解決するために令和5年度に発足した「持続可能な自治会検討委員会」に関する話を聞きました。

### 参加した区長の感想



どのようなことをすれば皆が喜んでもらえるかを常に考えることが重要。この気持ちをいつも。

人口減少、過疎化対策のためには、地域の活性化活動を通しての魅力ある町づくりが重要。



自治会、行政の負担軽減のためにもイベントの簡素化、デジタル化を進めるべきと思います。

